

第32回 国際親善 太平洋方面彼我戦没者追悼 サイパン玉砕72回忌 南溟堂建立25周年

サイパン・グアム かね 平和の梵鐘ツアー

平成27年10月26日(月)～29日(木) 3泊4日

ご挨拶

今年で終戦70年になります。省みれば昭和19年7月7日サイパンが玉砕し、岐阜県出身者4,381名が戦死されました。今年72回忌を迎えます。岐阜県仏教会は平成2年に故国に思いをはせながら戦いに散った戦死者の方々の追悼するために、サイパンの地に協力して南溟堂を建立しました。その後平成6年終戦50周年にあたり、平和の鐘を鑄造し、県下99市町村を2ヶ月かけて鐘を撞きながら、戦死者の追悼と平和を祈念し巡回いたしました。その後、鐘をサイパン南溟堂に安置し、終戦50回忌法要を厳修いたしました。私たちは「我が生命尽くる日まで再び来てこの梵鐘の綱をにぎり高らかに平和の鐘を打ち鳴らさん」との安置発願の思いを継承しなければなりません。再び戦争がないように平和への願いをこめて、このたび山川老大師の導師のもとに追悼法要を厳修いたします。是非ともサイパン・グアム法要の旅にお出かけ頂き、平和の鐘を鳴らし、追悼法要に一人でも多くご参加くださいますようお願い申し上げます。

岐阜県仏教会・岐阜県檀信徒会・栄叙大師奉賛会

募集要項

- ★旅行代金 142,000円(お一人様あたり)
 - ★募集人員 30名
 - ★添乗員 中部国際空港から中部国際空港まで同行します
 - ★食事条件 朝食：3回 昼食：2回 夕食：3回(機内食除く)
 - ★利用航空会社 ユナイテッド航空
 - ★利用ホテル サイパン：フィエスタ リゾート&スパ サイパン グアム：フィエスタ リゾート グアム
 - ★申込締切日 平成27年8月31日(月)
 - ★申込方法 岐阜県仏教会事務局へ「旅行参加申込書」にご記入のうえ、お送り下さい。お申し込みと同時に申込金3万円を岐阜県仏教会事務局へご持参または、近畿日本ツーリスト岐阜支店までお振り込み下さい。
- 振込銀行：十六銀行 本店 普通 0994206 口座名：近畿日本ツーリスト(株)岐阜支店
申込金は、旅行代金の一部として繰り入れます。お申し込み後、各種手続きの案内書を申込者宛、送付致します。



発行 平成27年7月1日
岐阜県仏教会事務局
岐阜市西野町3丁目1番地
岐阜西別院内 TEL 266-7803
編集 出版委員会
1部送料共 80円



ぎふ中央花まつり

お釈迦様の生誕を祝う「ぎふ中央花まつり」が5月8日、岐阜市金町の金公園とその周辺で開かれ、お釈迦様の母親が出産前に白い象の夢を見たとの伝説にちなみ、張り子の白い象三体を園児たちが引いてパレードした。

岐阜市と近郊の仏教系の幼稚園・保育園の園児と保護者ら2,000人が参加。

園児らは「よいこの花まつり」を歌い、釈迦像に甘茶をかけて「お誕生日おめでとうございます。」と合掌した。

県仏教保育協会、県・岐阜市の仏教会や檀信徒会で作る実行委員会など五団体が企画し、思いやりの心を持った子に育ってほしいとの願いを込めて毎年開催している。今年で30回目。



2015.05.08

就任された岐阜県商工会議所連合会会長 十六銀行頭取 村瀬幸雄氏が出席されました。

就任挨拶と共に「この西別院において毎年十六銀行の亡くなられた方々の追悼法要を勤めさせていただいております。長年にわたり当行でご尽力いただき、亡くなられた方々をご供養させていただくと共に、それをご縁に退社後なかなか会うことができない先輩の方々と、お互いに会ってなつかしい話ができる機会ともなっていることも、有難いことだと思っております。このような追悼法要を勤めさせていただくことは私たちの大切な勤めであり、と話されました。」



岐阜県檀信徒会名誉会長 村瀬幸雄氏

岐阜県仏教会・檀信徒会 合同会長会議に村瀬氏出席

去る六月四日、岐阜西別院で平成二十七年の合同会長会議が開催され、昨年四月一日付で岐阜県檀信徒会名誉会長に

旋風打

▼夜、蚊のブーンと言ふ羽音が聞こえると、目が醒めて、蚊を叩きに血まなこになってしまふ。

▼虫備に文とは、昔の人はうまく漢字を作ったものだと思える。子供の頃、夏の夜に窓を開け放ち、蚊帳を張って寝た。蚊取り線香の匂いと、蚊の非日常性で、不思議にわくわくして眠れなかったことを覚えてる。大きくめくって入ると蚊が入ると怒られたものだ。

▼エアコンが普及した日本ではあまり見かけなくなった蚊帳は、現在、世界ではデング熱やマラリアを予防する防護策としてWHOから推奨され、日本から二百万張もアフリカなどの国々に寄付しているそうである。

▼しかし、どうしてあのブーンであんなにイライラするのであるのか。

▼お釈迦様は、すべての人の中に「えらい様」がすんで居て、朝から晩まで、俺に合わせる。俺の言うことを聞け、俺の思い通りになれと叫んでいるからだとお説きになる。だから、言うことを聞かない人に腹を立てるのも、蚊が叩けなくて眠れないのも、「どうして、俺の思い通りにならないんだ。」と心の奥で「えらい様」がどなっているからなのだ。

▼この困った「えらい様」は、仏教語で無明と言ひ、三毒の一つで痴(おろかさ)とも言う。▼蚊も他人も自分の言うことを聞かない、思い通りにならないのが普通だと思えたら、怒らない良寛様のように、蚊に刺されても、一緒に晩酌だねって言えるであろうか。

(大空)

宗叡大師奉賛会

唐の時代に中国の高僧・鑑真の来日に尽くした美濃国出身の僧・宗叡大師の遺徳をしのぶ顕彰法要が十三日、美濃加茂市伊深町の正眼寺で営まれた。



宗叡大師は、仏教の戒律を日本に伝えるため七三三(天平五)年、遣唐使の一員の留学僧として中国へ渡り、鑑真の来日に力を尽くしたが、自身は中国で亡くなった。

顕彰法要は、宗叡大師の座像が一九九五年に同寺に安置されてから毎年営まれ、今年で二十一回目を迎えた。主催した「宗叡大師奉賛会」の澤田榮治顧問、村瀬恒治会長、県仏教会の寺町研山顧問、橋正信会長ら四十五人が参列。同寺住職の山川玄老師が焼香導師となり、読経の中、参列者が焼香して偉大な僧の功績をたたえた。(足立泰弘)

岐阜新聞記事より掲載

「葬儀についてのセミナー」開催される

岐阜県仏教会主催による、右記セミナーが平成二十七年六月十七日に本願寺岐阜別院「香光殿」にて一〇〇余名の参加者を得て開催された。

第一部は、橋正信岐阜県仏教会会長司会のもと、僧侶・葬祭業者・檀信徒代表・有識者が葬儀、特に「家族葬」に対して危機感を共有し、活発に討議された。

第二部は、「葬儀の現状」と題して、(株)表現文化社編集長 碑文谷創氏が、「葬送儀礼について」と題して、大正大学文学部教授 村上興匡氏が講演された。



違和感、少子高齢化、低成長時代により、葬儀の個人化、自由な自己表現としての葬儀欲求、等々の要因が考えられる。無縁社会と言われる時にこそ、僧侶は家族葬はだめだというばかりでなく、檀信徒はじめ、縁のある方々との信頼をしっかりと築いていかなければならぬ。と示唆に富んだご意見をいただきました。

〈時局対策セミナー〉

伝統仏教と人口減少について

講師 和田理都子氏(野村証券金融公共公益法人部主任研究員) 塚崎智志氏(野村証券金融公共公益法人部課長)

「伝統仏教と人口減少について」のセミナーが岐阜県仏教会主催にて平成二十七年七月七日(火)に本願寺岐阜別院・香光殿において約六十名の参加者を得て開催されました。セミナーでは少子高齢化や過疎化が急激に進む中、今後の寺院のあり方について多くの資料を元に貴重な提言をいただきました。

各地の動き

岐阜市仏教会

- 美濃市仏教会
三月二十四日 川端地蔵尊彼岸法要
五月八日 市内托鉢
五月十五日 花まつり
武芸川町仏教会
四月二十九日 花まつり、光仁供養
映画「わが母の記」
下呂市仏教会
二月二十五、二十六日 研修視察旅行(金沢市、他)
五月二十日 花まつり
多治見市仏教会
五月五日 だるま普道展協賛
五月八日 花まつり
五月十三日 瑞浪市仏教会
五月三、五日 花まつり写真生大会
五月二十六日 羽鳥市仏教会
五月二十六日 花まつり
市戦没者追悼法要
七宗町仏教会
五月 釈迦誕生花まつりを開催
五十ヶヶ寺

網代校区

- 三月二十一日 物故者追悼法要
四月十三日 花まつり
四月十八日 花まつり
五月八日 ぎふ中央花まつり
六月八日 研修旅行(岡崎市)
五月二十日 「真福寺」如山薬師寺、大樹寺の参拝など(八十名)

黒野校区

- 五月三日 花まつり
四月十二日 花まつり
四月二十六日 物故者法要
四月二十六日 鷺山校区檀信徒会追悼会
四月二十九日 常磐校区
五月八日 明徳校区
五月八日 厚見校区

方原校区

- 三月十五日 物故者追悼法要
五月八日 中央花まつり
六月十一日 物故者追悼法要
四月二十九日 花まつり

加納東校区

- 五月八日 花まつりパレード参加
五月二十日 金華校区
五月三十日 花まつり

梅林校区

- 五月八日 降誕会
五月八日 三里校区
五月八日 花まつり

岩野田北校区

- 四月二十九日 戦没者慰霊祭
五月八日 ぎふ中央花まつり参加
毎月 観音講御詠歌(二十名位)
五月八日 花まつり

作家「芥川龍之介」の最初の短編集「羅生門」の中表紙に、「君看よ双眼の色、語らざれば愁い無きに似たり」とあります。「あの人の二つの眼をよくごらんなきい、あの人は自分の過去を何も語らないけれど、何も語らないから何事もなかったように見えるけれど、よくよくあの人の眼を見れば、深い深い悲しみに耐え抜いておられるではありませんか、その姿があなたには解りますか」というような意味でしようか。芥川龍之介は、「羅生門」の凄惨な情景を踏まえて、この語を記し

たのでしようか、それとも自己の心境を記したのでしようか。先般、私は、東北大震災から四年を経た、仙台・石巻・女川・多賀城等々を尋ねました。さすがに瓦礫は

狸狸庵法話 「双眼の色」 松久宗心

ほぼ撤去されていましたが、かつての住宅地が、広い空き地となつて草が生い茂っておりました。

も、従業員は必死に避難してくる人たちのお世話をし、気が付けば従業員は、一日半ばば飲食せず食わずで頑張っていました。あるいは、避難所になった寺院では、食べ物・寝具・衣類から下

着まですべて提供し、共に水も電気もない避難生活に耐えました。ロウソクの本がありがたかった。等々、けれども、私の接した人たちは一様に、自分自身のこと・家族のことはあまり語られませんでした。この時私は、その様子を見ていて、「君看よ双眼の色、語らざれば愁い無きに似たり」の言葉を思い起こしました。そして更に大震災・津波の被害に遭われた人たちの「双眼の色」は、尊い仏様の眼の色のようになつてしま

各宗派仏壇仏具・寺物設計製造・仏壇修理洗濯
岐阜 東別院南 (有)宮本佛壇店
〒500-8061 岐阜市小籠町2丁目 TEL (058) 263-0773

第47回 お経を習いましょう
祖先を敬い、父母を大切に、明るい家庭をきずくために 夏休みにはみんなでお経を習いましょう
事務局 岐阜県仏教会 (岐阜西別院 庫裡)
岐阜市西野町3丁目1番地 電話 (058) 266-7803